

推進指針

I 住んでよし、訪れてよしの 経済・環境・社会における 持続可能な観光地域づくり

地域住民、観光関連事業者、旅行者がそれぞれの立場から、地域資源を損なうことなく、現在から将来に引き継ぐための持続可能な観光地域づくりをともに行います。

II データマーケティングに基づく 施策の展開

これまで行ってきたデータマーケティングの取組を強化し、施策立案、現状・課題分析、効果検証など、全てのプロセスにおいてデータを活用し、勘や経験ではなく、エビデンスに基づく施策の展開を行います。

3年後の目指すべきすがたと数値目標

<目指すべきすがた>

地域に誇りと愛着を持つことで、地域への観光による交流・経済メリットを理解し、快く旅行者を受け入れている。

おおいたならではの多様な魅力を堪能するため、繰り返し訪れるとともに、その魅力を将来に引き継ぐための責任感を持ち、旅行を楽しんでいる。



観光消費額の増加により、安定的な収益と雇用を確保し、観光産業が県経済を牽引する存在となっている。

多様な地域資源が尊重されるとともに、現在から将来に引き継ぐため、地域と旅行者がともに適正な利用を図っている。

<数値目標(令和9年)>



おおいた観光を次のステージへ

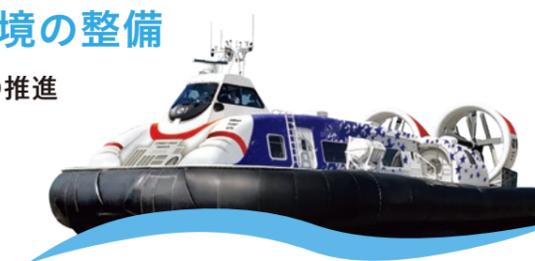
主な取組内容

1 地域と旅行者の相互理解による地域生活・環境・文化の構築

- (1) 地域住民と観光関連事業者が旅行者と共生する地域づくりの推進
- (2) 旅行者が意識や行動に責任を持つことで、より良い観光地形成を目指す取組の推進

2 多様化する旅行ニーズに対応する受入環境の整備

- (1) 誰もが安心して旅行を楽しめるユニバーサルツーリズムの推進
- (2) 周遊に向けた交通環境の整備・周知
- (3) 災害や感染症などに対する観光危機管理体制の整備
- (4) 観光案内所等情報・交流拠点のネットワークの深化



3 人材の確保・育成を重視した地域経済の安定的な成長

- (1) 観光産業や観光地域づくりを担う人材の持続的な確保・育成
- (2) 観光産業の基盤強化



4 地域素材の磨き上げ

- (1) 魅力ある多様な温泉の活用と保護・適正利用の推進
- (2) 自然や歴史・文化、芸術、食等を活用した高付加価値コンテンツの造成、磨き上げ

5 “選択”と“集中”による戦略的な誘客

- (1) 経済効果の高いターゲットの選択と集中的な情報発信
- (2) 具体的なターゲットに焦点を当てた効果的な誘客施策の展開

6 県観光推進体制の強化

- (1) ツーリズムおおいたと県との連携強化
- (2) 地域とツーリズムおおいたとの連携強化

